

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	開所時に、スタッフ全員で話し合いながら作った理念があるが、日々のケアの中で、スタッフの思いがより深く変化してきている。そのため、新しい理念を考えようと、カンファレンスで話し合い中である。	○	新しく理念を立て直すとともに、これからも定期的に理念の見直しを行って行きたい。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念の作成を職員全体で行っている。	○	これから更に深く話し合いをし、新しい理念を作成するとともに、その実践に向けて職員全員で努力して行きたい。
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	御家族には、入居申し込み時、契約時に丁寧に説明させて頂いている。地域の方々には、地元説明会での説明と開設時の内覧会で説明している。運営推進会議でも新しい理念を作成中であること、現在まで進行の状況を説明させて頂いた。	○	新しい理念が決定した際は、家族や地域の方に報告したい。
2. 地域との支えあい				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	回覧板や散歩で行き会った時など、挨拶やお声を掛けさせて頂いている。また、親睦会などにお誘いしている。	○	隣のお子さん達に遊びに来てもらうという話があったが実現できていない。今後、実現に向けてお声を掛けさせて頂きたい。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の行事に参加させていただいている。甘酒祭り、敬老会、体育祭、獅子舞祭り、クリーン大作戦、いきいきサロン、小中学校運動会など。	○	継続して参加させて頂きたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>地域の民生委員の方たちとは、いつでも連絡を取れる体制にしている。週一回、母体のクリニックでケアマネが介護相談の場を設けている。</p>	<p>○</p> <p>地域の方が何を必要としているか聞く機会を、もっと増やして行きたい。</p>
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>意義はカンファレンスの時に話し理解している。前回指摘のあった、ケアプランにサインを頂くようにした。</p>	<p>○</p> <p>今後も自己評価や外部評価を実施し、ケアを見直す機会にしたい。</p>
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>地域行事の情報を頂き、参加させて頂いたり、御家族の意見を聞き、ケアの見なおしを行った。</p>	<p>○</p> <p>継続して意見を頂いて行きたい。また、会議の開催回数を増やして行きたい。</p>
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>管理者がこまめに連絡をとっている、</p>	<p>○</p> <p>継続して行きたい。</p>
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>数名は外部の研修に参加した。</p>	<p>○</p> <p>今後も研修に参加したり、内部で勉強会を設けるなどし、全職員が理解できている状態にしたい。</p>
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>学ぶ機会を設けていない。</p>	<p>○</p> <p>研修に参加したり、勉強会を設けたりして行きたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
4. 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には十分な時間を掛け、御家族に細部までご理解頂けるよう、丁寧に説明を行っている。	○	継続していきたい。
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日頃より利用者の言葉は聞き逃さないよう注意している。苦情等の意見があった場合は記録し、カンファレンスで話し合い、ケアにつなげている。	○	継続していきたい。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	生活の様子や健康状態は、御家族来所時にスタッフが話しさせて頂いている。急な変化などがあった場合はお電話にてお話ししている。金銭管理については、毎月書面にて報告させて頂いている。	○	継続していきたい。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	契約時に内部、外部の苦情受付窓口について説明させて頂いている。また、玄関に苦情・質問受付BOXを設置している。	○	もっと御家族が意見や不満を言いやすい関係を築いていきたい。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	必要に応じて相談し、反映している。	○	定期的に意見を聞く機会を設けていきたい。
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	要介護者の増加に伴い、スタッフを増員した。	○	対応できないと予測がつくときは、話し合いや、勤務体制の見直しを行いたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>離職者が出ないように、普段から職員の様子には気を配っている。異動があったときは、事前に利用者のことを細かく申し送りし、利用者に影響がないように配慮している。</p>	<p>○</p> <p>継続して努力していきたい。</p>
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>○ J Tの意義を職員で確認はしたが、活用には至っていない。現在は、プロジェクトチームを立ち上げようと、話しをしている段階である。</p>	<p>○</p> <p>今後プロジェクトチームを立ち上げ力を入れて取り組んでいきたい。</p>
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域の運営者間では良い関係が築けており、いつでも連絡とれる状態にある。市内GH職員の交流会もあり、参加している。</p>	<p>○</p> <p>継続していきたい。</p>
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>年一回、会社負担による親睦会を実施している。月に2、3回体育館を借りて、運動の機会を設けている。</p>	<p>○</p> <p>継続していきたい。</p>
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>研修の参加回数や係への取り組み、日頃の勤務状況を評価し、賞与に反映するようにしている。</p>	<p>○</p> <p>継続するとともに、更に努力していきたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談を頂いてから数回にわたり、ご本人と面会をし、話を聴かせて頂いたり、情報を得たりしている。	○	継続していきたい。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談を頂いた時点から、御家族の状況や心配事等を丁寧にお聞きして、情報を得るようにしている。	○	継続していきたい。
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を頂いた時に、必要性が感じられた場合は、他のサービス等の情報も提供させて頂いている。	○	継続していきたい。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	まずは、見学やお茶飲みにだけ来てもらったりなど、御家族と相談の上行っている。	○	継続していきたい。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	様々な生活リハビリを通して、個々の能力を引き出し、皆で支えあう雰囲気が作れるように配慮している。	○	継続していきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	御家族来所時には近況報告をし、ささいなことでも相談をしながら行っている。	○	継続していきたい。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	相談を頂いた時に、これまでの家族関係や周辺の関係性について詳しくお聞きする。	○	継続していきたい。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご本人のこれまでの生活環境について詳しくお聞きする。	○	継続していきたい。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	スタッフ間で話し合いをしたり、気づきノートで利用者の情報を共有し、利用者同士が寄り添えるように努めている。	○	継続していきたい。
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	必要とされた経験はないが、そうありたいと思っている。	○	必要とされた時は、喜んでおつきあいさせていただきたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の思いを記録の中より把握し、スタッフ間での情報交換に努めている。	○	継続していきたい。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	相談を頂いた時に、御家族や他事業所やケアマネ等、複数の関係者から情報を頂くよう努めている。また、入所後本人の生活から気づいた事柄を、御家族に確認し情報を得ている。	○	継続していきたい。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	個々の一日の過ごし方を記録するものがある。センター方式を活用し、職員全体でアセスメントを行い把握するようにしている。	○	継続していきたい。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	毎月のカンファレンスで、スタッフそれぞれの意見やアイデアを出し合って、個別介護計画を作成している。	○	継続していきたい。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	ケアカンファレンスにて見直しを行っている。また、更新の方でなくても、気になることがあった場合はカンファレンスで話し合いをしている。	○	継続していきたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	気づきノートや、個別経過記録、連絡ノート等で情報を共有し、カンファレンスや話し合いを行っている。	○	継続していきたい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	特にしていない。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域の民生委員やボランティアとは活発な交流がある。消防団の方とは緊急時の連絡方法などを話したり、確認したりしている。	○	継続していきたい。
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	特にしていない。	○	必要に応じて行いたい。
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	困難事例に直面した場合、解決の糸口を見つける為に、主任ケアマネに相談し、アドバイスを頂いている。	○	必要に応じて継続していきたい。。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>相談受付から入所申し込みに至る過程の中で、ご本人と御家族の意向を十分に汲み取り、適切に対応している。</p>	<p>○</p> <p>継続していきたい。</p>
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>特にしていない。</p>	
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>看護資格を持つ職員や、隣の施設の看護師に、細かな変化を相談しながらケアを行っている。</p>	<p>○</p> <p>継続していきたい。</p>
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>協力医療機関を通じて、あらゆる状況に対応できるよう努めている。</p>	<p>○</p> <p>継続していきたい。</p>
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>入居申し込み時に、重度化した場合の対応についての説明をさせていただいている。</p>	<p>○</p> <p>継続していきたい。</p>
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>特にしていない。</p>	<p>○</p> <p>重度化が予測される方も居るので、話し合いをしていきたい。また、勉強会などの機会を設けたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	○	継続していきたい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	○	継続するとともに、慣れが出ないよう気をつけていきたい。
51	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	○	継続していきたい。
52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	○	継続していきたい。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	○	継続していきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	生活リハビリを兼ね、利用者に積極的に関わってもらっている。	○ 継続していきたい。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	その時の状況に応じて対応している。酒・タバコについての希望者はいない。	○ 要望があった場合は対応していきたい。
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄時間をチェックし、カンファレンスで話し合い、個々にあった時間で誘導するようにしている。個人の尿量に合わせて、パットの種類も変えている。	○ 継続していきたい。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日3名を目安に、14時頃～16時頃の時間帯に一人づつ声かけをし、入浴して頂いている。予定の3名以外にも希望者がいれば、対応できるようにしている。	○ 継続していきたい。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	スタッフ間で連絡を密に行い、柔軟に対応している。日々の利用者の身体的・精神的状態の変化には気を配っている。	○ 継続していきたい。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	生活歴を参考にして、得意なこと・興味関心のある事を中心に、楽しみを持って暮らして行けるように支援をしている。	○ 継続していきたい。


項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>外出の際、財布や預かり金を持っていくか聞いているが、あまり希望する人はいない。</p>	<p>○</p> <p>更に声掛け等、支援していきたい。</p>
61	<p>○日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>天気の良い日は散歩や買い物など少人数ずつ支援している。</p>	<p>○</p> <p>歩行が困難な方の外出が少ないので、増やしていきたい。</p>
62	<p>○普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	<p>月別のレクリエーションスタッフが、それぞれの希望や趣向を考慮し計画を立てて支援している。御家族と一緒にの外出の機会には設けられていない。</p>	<p>○</p> <p>家族との外出の機会も考えていきたい。</p>
63	<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>希望があった場合は支援している。</p>	<p>○</p> <p>継続していきたい。</p>
64	<p>○家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している</p>	<p>いつでも気軽に訪問してもらえるような雰囲気作りに努めている。</p>	<p>○</p> <p>継続していきたい。</p>
(4) 安心と安全を支える支援			
65	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>今のところ、身体拘束につながるような状況のご利用者はおらず、特に対応はしていない。</p>	<p>○</p> <p>施設で勉強会を設けたり、研修への参加を呼びかけたり、スタッフ全員で理解を深めていきたい。</p>

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中、門や玄関は鍵をかけていない。カンファレンスで鍵をかけないケアについて話している。	○	継続していきたい。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	スタッフは常に、ご利用者の言動と安全に気を配り、穏やかな生活が出来るように努めている。	○	継続していきたい。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	引き出しの中に保管したり、棚などを作成したり、ご利用者の行動を把握した上で対応している。	○	継続していきたい。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	日頃よりヒヤリ・ハットを見つけるよう努め、それをスタッフ全員で共有し、事故につながらないように話しあっている。新たに、事故防止対策委員会を設置したが活動には至っていない。	○	継続するとともに、事故防止対策委員会を活動させていきたい。
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	看護師による勉強会を隣の事業所と合同で行った。緊急連絡網を整備している。	○	定期的に学習会をもちたい。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	日光市消防本部予防課に年2回依頼し、避難訓練等をおこなっている。夜間想定訓練も行った。地元の消防団には緊急時の応援をお願いし、了承を得ている。	○	定期的に訓練していきたい。地域との合同訓練も話しに出たが未定である。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	<p>○リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている</p>	○	御家族とのコミュニケーションを更に深め、何でも話し合える関係性を継続していきたい。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>○体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>	○	継続していきたい。
74	<p>○服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	○	継続していきたい。
75	<p>○便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	○	便秘が及ぼす影響について勉強会を行いたい。
76	<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	○	毎食後口腔ケアを促すとともに、個々の口腔内の状況を見極めながら、ケアを継続していきたい。
77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	○	継続していきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	手洗い、うがい、手指消毒の徹底。毎朝手すりや椅子などの消毒も徹底している。嘔吐物などの取り扱いについても、日頃よりスタッフ間で確認し合っている。	○	協力医療機関と連携を取りながら、状況にあった対応をしていきたい。
79 ○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	毎日、まな板や包丁の消毒を行っている。食事を作る際は、先に購入したものから使用し、消費期限もまめに確認している。	○	継続していきたい。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり			
80 ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	車椅子用のスロープがあり、階段の横には手すりが設置されていて安全面には考慮している。また、近くの下段には花を植えたり、玄関に花を飾ったりし、明るい雰囲気作りを心がけている。隣の施設と間違える方が多いので玄関に看板も設置した。	○	継続していきたい。
81 ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	掲示板に作品や写真を展示。カーテンや暖簾の工夫で居心地良い空間作りに努めている。	○	もっとくつろげる様な空間作りをしていきたい。
82 ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファやコタツを設置し、自由に使用してもらえるようになっている。	○	継続していきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>御家族と相談し、本人が自宅で使用していたものを持ってきてもらっている。</p>	<p>○</p> <p>継続していきたい。</p>
84	<p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気の様子がないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	<p>気候に合わせて室温調節を行い、天気の良い日などは窓を開け換気を行っている。換気扇なども活用している。</p>	<p>○</p> <p>継続していきたい。</p>
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>建物内には十分な手すりを配置し、歩行時の安全性を確保している。</p>	<p>○</p> <p>身体状況に応じて工夫していきたい。</p>
86	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	<p>気づきノートを活用し、その人の何がどこまで出来るかの情報を共有することにより、様々な工夫をしている。</p>	<p>○</p> <p>継続していきたい。</p>
87	<p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	<p>リビングから見える場所に椅子とテーブルを設置し、利用してもらっている。小さい花壇もあり、ご利用者に花を植えてもらっている。広い畑も確保し、野菜を植えて収穫を楽しんでいる。</p>	<p>○</p> <p>継続していきたい。</p>

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者の <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいの <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいの <input type="radio"/> ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/> ①毎日ある <input type="radio"/> ②数日に1回程度ある <input type="radio"/> ③たまにある <input type="radio"/> ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> ②家族の2/3くらいと <input type="radio"/> ③家族の1/3くらいと <input type="radio"/> ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

毎日アクティビティ担当のスタッフがあり、外出やレクリエーションなどを支援できるようにしている。危険だからさせないのではなく、見守りながら包丁や針仕事も行ってもらい、利用者がどこまで出来るのか把握するように努めている。レクの計画を立てる際は、利用者だけが楽しむのではなく、スタッフも楽しいものと考え、楽しみながら仕事を行っている。